

鋳物大手の虹技（本社・兵庫県姫路市、社長・山本幹雄氏）に5日、アフリカ東南部のマラウイの医療関係者3人が見学に訪れた。同社の姫路東工場で見学したほか、地元飾磨・浜の宮天満宮の秋祭りの準備の様子を見学した。

マラウイの医療関係者の日本訪問は、JICAの草の根技術協力事業の一環で、自国の衛生環境向上のため、病院や学校、給食センターなどを見学した。同社とはNPO法人Color bathを通じて「ソーラーボイラー」

虹技 マラウイから工場見学受け入れ 「ソーラーボイラー」提供が縁に

をマラウイに提供した「ボイラー」は、同社務所で虹技の会社説明縁で今回の工場見学に、が工場の一部を貸してのビデオを見た後、姫つながった。「ソーラ いるシエラテクニクス 路東工場で、発泡スチ



工場内に設置されているソーラーボイラーを見学するマラウイ一行

の福寿喜寿 ロールや木製の模型、郎氏が開 鑄造、大型品の機械加発。太陽光 工、送風機などの製造のみで調理 工程を見学した。マラやお湯を沸 ウイ国営ムジンバ県病かすことが 院のベステイド・ンコき、現在、 副病院院長は「日本では農村部を 知識を、マラウイの多中心に18台 くの人に伝えていき設置されて い」とした。

いる。現地 同社は、これまで社では、医療 員教育の一環として3機器の煮沸 人の社員を「ソーラー消毒や調理 ボイラー」設置のために使われて マラウイに派遣してお

り「希望者があれば来マラウイ 年も派遣したい」（山本社長）としている。

